



あゆみ

学校だより 10月号

親子で食事 親子で会話
親子で読書



校長 鈴木 学 平成25年10月23日

感動いっぱいの運動会 大変お世話になりました

運動会がずっと前のことのように思えるのは、日々の忙しさのせい、それとも、季節が大きく変わってしまったからでしょうか。

手前味噌になり恐縮ですが、「感動的だった！」というのが、職員みんなの声であり、多くの保護者からいただいた感想です。遅ればせながら、今年度の運動会のよかった点をまとめると、

1、子ども達のがんばり

何よりも、子ども達の演技や勝負に臨む真剣な姿、それを心から応援する態度、5・6年生のリーダーシップ・・・それらどれもが素晴らしく、ご覧いただいた方の感動につながったものと思います。

5・6年生の種目の時は、4年生と3年生が、低学年をリードして応援する姿が見られました。もう、高学年への心の準備は万全です。

以下は、3年生担任の週プロの反省に書かれていたものです。



運動会の前日、「3年生として、失敗しても1等賞でなくても「一生懸命」やることが一番大事、勝っても負けても「頑張ったね」と最後に言えるようにしよう」と話した。

当日は、応援歌をずっと歌い続けて応援する女の子たちがたくさんいた。リレーの時も「頑張れー！」の声援と共に、さわやかな歌声が聞こえてきて、とても感動した。

3年生が、自分たちの種目以外でも、一生懸命に応援していた様子がよく伝わってきます。

2、競技がおもしろかった

今年はPTA種目も新しく加わるので、種目を少し斬新なものにしよう、と先生方に提案しておきました。

1・2年生の玉入れは、入れた数ではなく、早く全部入れた方が勝ちというものでした。時間がかかり過ぎるのではないかと、観ていて少しハラハラしましたが、学年の先生が、本番までにかごの高さを何度も調節してくれていたの、余計な心配でした。

3・4年生の綱引きは、横に引くというのが意表をついていて、とてもおもしろかったですね。横に引くということで、作戦を考える必要性が生まれました。子ども達は、練習の反省を生かし、いろいろと作戦を練って本番に備えました。ダンスは、数年続けていた「縁・ソーラン」をやめて新しいものにしました。(こちらは、伝統種目になってきたところなので続けた方がよいか大変迷いましたが。)

さらに、5・6年生をはじめ、どの学年も障害走がよく工夫されていて、観ていて楽しかったです。

3、PTA種目が加わった

1つの競技だけでしたが、みなさんに楽しく参加していただけました。結果が引き分けだったので、紅白の勝敗に影響しなかった点もよかったですと思います。(夢中になれるのは素晴らしいことですが、残念なことに、終了のピストルが鳴ってもやめない方がいました。児童席から「大人げな〜い」という声が聞かれたので、来年はご注意を。)

4、保護者の協力

とくに片付けでは、たくさんの保護者にご協力いただきました。また、駐車場やビデオ

・写真撮影の場所についても、しっかりルールを守っていただけました。本当にありがとうございました。



テントもあっという間に

運動会こぼれ話(1)

やさしいお兄ちゃん

妹が赤組で、自分は白組だったお兄ちゃんの話です。

白組の優勝でクラスみんなが喜んでいる中、「○○ちゃん(妹)は、負けちゃってかわいそうだな〜。」とポツリと呟きました。こんな時に妹の心配をしてあげるなんて、本当にやさしいお兄ちゃんです。

運動会こぼれ話(2)

睦小の子はたいしたもんだ!

昼休みにトイレから出ていらした男の方が、受付にいた本校職員に「いや〜、睦小の子は、たいしたもんだ。『お先にどうぞ』と言って、順番を譲ってくれたんだよ。」と、にこやかに話してくださいました。

次の週に全校集会があったので、このことを題材にして話をしました。

運動会の昼休みに、トイレで睦小のある男の子から順番を譲ってもらった男性が、「~~~~は、たいしたもんだ!」と言って褒めてくださいました。さて、~~~~に入る言葉は何でしょう?

これには、4年生の女の子がすぐに正解を言ってくれました。

親切にしたのは、一人ですが、この男性は、「睦小の子は」と褒めてくださいました。一人がよいことをすると、睦小児童全体の評価が上がります。

でも、反対に一人でも悪いことをすると、「睦小の子は」だめだな〜、と言われてしまいます。

みなさん一人一人が、いつも睦小の代表であることを忘れないでいてください。

親切にした子はだれなのか知りたくて、子ども達に聞いたのですが、その場ではだれも手を挙げませんでした。

集会後に5年生のS君と分かったので、手を挙げなかった理由を聞くと、「恥ずかしかったから」ということで

した。S君にとって、これくらいの親切は当然のことなのかも知れませんね。

「挨拶の詩」暗唱・全員合格

あとは、実践あるのみ!!

『あいさつ』

「おはよう」というと 目がさめる
「いただきます」というと おなかがよく
「いってきます」というと 元気になる
「ありがとう」というと きもちがいい
「ごめんなさい」というと ほっとする
「おやすみなさい」というと いいゆめみられる
あいさつってうれしいな

『あなたのあいさつで』

あなたのあいさつで うれしくなる人が、
あなたのあいさつで 元気になる人が、
あなたのあいさつで 幸せになる人が、
きっとあらわれます

全児童が、この2つの詩の暗唱に合格しました。毎度のことですが、低学年の子ほどスラスラと、高学年の子は思い出しながらどうにかこうにか、といった感じです。

伊澤栄養士さんの配慮で、『全員合格』を祝って、給食に特別デザートが出ることになりました。お楽しみに!!

短い詩なので、暗唱できただけでは威張れません。これからもしっかり実践につなげて欲しいと思います。

授業の楽しさ・喜び

若手の先生のクラスで研究授業があり、町教委と下都賀教育事務所の指導担当者に観ていただきました。

授業後の先生の反省に、次のことが書かれていました。

私自身緊張しましたが、子ども達が教師の期待に応えようと一生懸命取り組む姿に励まされ、無事授業を終えることができました。

子ども達が、先生のためにと、張り切って授業に臨んでいたことがよく分かります。

私も担任の時に授業をして、「子ども達に助けられた」と思ったことがよくありました。これもまた、授業の楽しさ・喜びの一つです。

親子読書(うち読)へのご協力をお願いします。(詳しくは図書館だよりで)